

浜道湖



今号の表紙

夏列車

教育研修部コラム「かつおぶし」	2
全国公募「Tシャツデザイン展」入賞!!	3
なぜ、土用の丑にうなぎを食べるの?	4
災害時に備えた衛星電話通信訓練を実施しました	5
認知症認定看護師とは	6
新人紹介	6
地域医療連携室だより	7
外来診療表	8

独立行政法人国立病院機構松江医療センター

松江市上乃木5丁目8番31号

TEL0852-21-6131

かつおぶし

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹



夏の教育研修部コラムは新人さんに向けてのメッセージとなることが多くなります。今回もそんな感じで、お送りします。

ある春の日の週末に広島へ出かけました。広島といえば、お好み焼き。その上に乗っているあのカツオ節。

ユラユラと揺れていて、生きているように見えて、ちっちゃい頃には不思議でたまりませんでした。でもおっきくなってその仕組みを知ると、それはただの「現象」に変わっていきました。

私はこの何年も、常に何かしらのスライドを作ったり、原稿を書いたりしています。そして今年はやたらと多い依頼原稿…。こんな日々が続くと、まるで自分が少しずつ削られるように感じます。特に依頼されて文章を書くというのはなかなか大変。知識や経験だけではなく、人間的な奥行きというか、幅というか懐というか、とにかくそんなのがおっきくないと、書けば書くほど自分がちっちゃくなってしまいうような気がするのです。

そう、カツオ節みたいなもんだなぁって思うのです。

時間をかけて、いろんな工程を経て、カチンコチンになったものを削る。自分は削られたように感じるけれど、その削り節は誰かの役に立っている。主役にはなれなくとも、きっと何かの役には多分立っている。

そんなら、いっか。

書けば書くほど、作れば作るほどに削られて、スカスカになるけれど。でも、その工程を通して、自分の中にも何かが残って結局自分の役にも立っている。それがきっと、また誰かの役に立つ。

そんなら、いっか。

この春、新しい環境に飛び込んだ皆さんも、いろんなことに削られるような日々だったかもしれせん。けれど、その中できっと、何かが身についています。そしてそれは、誰かの役に立っています。

削られすぎたなぁと感じたら、どうかちょっと立ち止まって休んでください。それもまた立派な選択。でもね、少し休めて元気がでたら、また歩き出しましょう。きっとまた誰かの力になれるはず。

多分この仕事ってその繰り返し。あなたもきっと誰かのカツオ節。

教育研修部は、いつでも皆さんのそばにいます。



全国公募「Tシャツデザイン展」入賞!!

療育指導室 保育士 岡田真理恵



今回、徳島県と徳島県障がい芸術・文化活動支援センター主催の第5回全国公募「Tシャツデザイン展」テーマ「夏の空をTシャツで彩ろう」に、当院に療養介護で入所されている4名の患者さんが応募されました。この「Tシャツデザイン展」は、2021年1月徳島県立障がい者交流プラザに、障がい者アートを常設展示するギャラリーがオープンした記念に募集を始められました。

応募作品はパソコンを利用した作品や日頃療育活動で行っている押し花をスキャンし組み合わせて模様にした作品、ペンで直接紙に描かれた作品がありました。それぞれ個性が光る、とても素敵な作品を応募されていました。

今回デザインを応募された理由を患者さんにお聞きしてみると「日頃からデザイン制作に励み、病院内でも"DESIGN CLOSET"というTシャツ制作会社に所属しているが、もっとたくさんの方に作品をみてもらいたい。」「作品を披露する場があまりないから応募してみた。」と言われていました。

2025年6月10日（火）に、徳島県立二十一世紀館多目的活動室において、全国から応募された794点の作品審査が行われ、2階病棟 永瀬雅人さんの作品が見事に入選を果たしました。作品はそのままTシャツにプリントされ「松茂町Tシャツアート展」にて展示されます。会期後、松茂町商工会様より展示されたTシャツを贈っていただけることになっており、贈っていただいたTシャツは療育訓練室にて展示しますので是非見に来てください！

日頃よりデザインの制作に励まれている方々の作品を応募することができるとともに今回の応募作品が展示され、多くの人の目に触れることをとてもうれしく思います。これからも患者さんと一緒に楽しみながら見聞を広め、多様な経験をしていけたらと思います。



入選された永瀬さんの作品（右から2番目）



なぜ、土用の丑に うなぎを食べるの？



栄養管理室

栄養士 小草文香

土用の丑の日とは？

「土用」とは立春・立夏・立秋・立冬の直前の18日間の「期間」を示す言葉です。そして「丑の日」は十二支の丑であり、昔の暦では日付を十二支で数えていました。「土用の丑の日」とは土用の期間に訪れる丑の日、つまり「季節の変わり目」ということになります。ちなみに土曜日とは関係がなく、今年は7月19日、7月31日の2回土用の丑の日にあたります。

なぜうなぎを食べるの？

うなぎを食べる習慣が一般化したのは江戸時代。諸説ありますが、蘭学者の平賀源内が発案したと言われています。夏場にうなぎが売れず困っていた鰻屋が平賀源内に相談したところ、「丑の日『う』が付く食べ物を食べると夏負けしない」という風習があったことをヒントに「本日土用の丑の日」と書いて店先に貼ることを提案しました。その結果大繁盛したことがきっかけだと言われています。

たんぱく質

筋肉や臓器など体を構成する重要な栄養素。酵素やホルモン、免疫物質の原料となるため体力や免疫力アップにつながる。



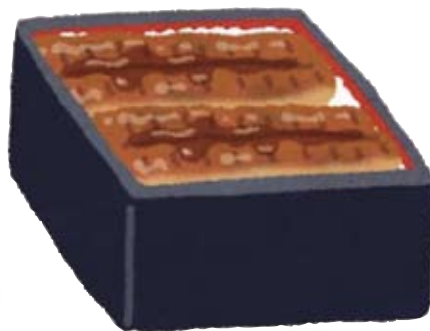
ビタミンD

カルシウムの吸収・骨の成長を促進。

ビタミンB群

特にビタミンB1・B2が多い。ビタミンB1は栄養素がエネルギーに変わるのをサポートし、疲労回復の効果がある。ビタミンB2は皮膚・髪・爪などの細胞の再生に関与し、美容効果がある。

うなぎの栄養



ビタミンE

細胞膜に存在し、抗酸化作用で細胞を守る。また血行を良くする働きもあり、肩こりや頭痛、冷え性などの改善効果がある。

カルシウム

骨や歯の主な構成成分。他にも神経の興奮を抑える働きがあり、ストレスを和らげる効果がある。

ビタミンA

視覚や目の健康を守る。皮膚や粘膜にある細胞の形成に必要で、粘膜の乾燥や細菌の感染を防ぐ。



災害時に備え、衛星携帯電話を用いた通信訓練を実施しました

企画課 契約係 平井 大喜



松江医療センターでは、島根県による通信訓練に合わせて災害時における通信手段の確保と情報共有体制の強化を目的として、新たに導入した衛星携帯電話「ワイドスターⅢ」を用いた通信訓練を実施しました。

「ワイドスターⅢ」は、地上の電話回線や携帯の電波が使えない非常時でも、赤道上空の静止衛星を介して安定した通話が可能な機器です。日本全国どこからでも発着信できるため、災害時における重要な連絡手段として注目されています。さらに、電話線を使えばアナログ電話機との接続も可能で、更に専用アプリを使えばスマートフォンからの通話もできるため、柔軟な運用が可能です。

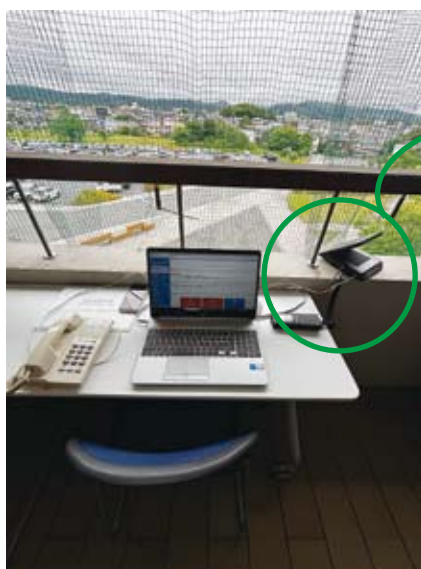
今回の訓練では、大規模地震や豪雨による停電や浸水で非常用電源が停止し、電子カルテも使えないという厳しい状況を想定しました。病院の災害対策本部として、ワイドスターⅢ本体は、見通しの良い3階業務用エレベーター前のテラスに設置し、南向きで衛星を捉えやすい角度及び環境を整えた上で、音声通話とデータ通信の両方を実施しました。管理当直を担う非常勤職員を含む事務職員が訓練に参加し機器の実際の操作や、電源の入れ方から衛星の方向確認、アナログ電話機やスマートフォンへの通話接続までの手順をひとつずつ確認するとともに、「EMIS（広域災害救急医療情報システム）」への停電・断水・火災などによる診療制限の情報の入力も併せて実施しました。また、パソコンとの有線接続やWi-Fiルーターを介したスマートフォンによる入力方法についても実際に検証を行いました。

これにより、災害時において、アナログ電話機やスマートフォンを活用した柔軟な通信手段が実用的であることがこの度の訓練で確認できました。

このような機器は、日常的に使用する機会が少ないからこそ、非常時に確実に使えるようにしておくことが大切です。当院では今後も、定期的な訓練やマニュアル整備を通じて、災害時にも迅速かつ的確な対応ができる体制づくりを進めてまいります。



PCによるEMIS入力画像



ワイドスターⅢとPC、アナログ電話接続



ワイドスターⅢ本体



認知症認定看護師とは

4階西病棟 認知症認定看護師 田島 麻衣子



今回は認知症看護認定看護師の役割について紹介したいと思います。

【認知症認定看護師とは】

認知症の人の生命や生活の質を考え、本人の尊厳を尊重し、認知症の方の病状 管理、療養生活環境を最適なものにすること、看護の質の向上を図ることを役割としています。

私は、入院される認知症の患者さんに「認知症ケアチーム」で関わっています。

【認知症ケアチームとは】

認知機能の低下に伴い日常生活に支障をきたす症状や行動、意思疎通の困難さみられる入院患者さんに対し、認知症症状の悪化を予防することや環境の調整を図ります。さらに、コミュニケーション方法を工夫することや、ケア計画の作成・実施・評価を定期的に行うことが認知症ケアチームの役割です。

認知症ケアチームの中での私の役割は4つあります。

- ① 患者さんの認知機能や理解力を確認し、コミュニケーション方法の工夫、行動・心理症状などの症状などがあれば本人にとっての意味は何かを理解しスタッフと情報共有を図ります。患者さんの求めているものを探り必要な支援や課題がないかをカンファレンスにて検討します。
- ② 点滴、酸素カヌーの他、挿入されているチューブ類の効果と必要性を日々確認します。チューブ類はなるべく最小にするよう取り組んでいます。安心して治療が受けられるように入院環境を調整しています。
- ③ 認知症改善薬、抗精神病薬など処方・使用されている薬剤を確認し、薬の調整が必要と考えられる場合は医師らと検討しています。
- ④ 退院後に必要な関わり方などの情報提供をしています。サマリーに患者さんの好きなことや認知症状に対して病棟で行っていることを記載し、退院後も患者さん、御家族が困らないように情報提供しています。入院により、普段の生活環境と離れ、不安や寂しが高まることで認知機能の低下をきたします。患者さんと御家族が望む住み慣れた地域に早期に帰られるように支援を続けていきたいと思っています。



1階病棟 看護師 山田 利華



私は、令和7年4月より松江医療センターに入職し、1階病棟で看護師として働いています。1階病棟では、筋ジストロフィーと主にALS等の神経難病の患者さんが入院されており、長期の療養生活を送ってられます。

入職してからは初めての事が多く、患者さんとのコミュニケーション方法やケアなど不安に感じる事が多くありましたが、先輩方の温かい指導もあり分かることが増え充実した日々を過ごしています。技術面では、基本に戻り根拠や留意点を知った上で、患者さんそれぞれの個性に合った方法が大切であると改めて実感しました。コミュニケーションでは、表情や目線、口の動き等の非言語的コミュニケーションを用いる事が多いです。その中で、患者さんの環境や普段の状態を知る事や顔色、呼吸状態等の数値を観察することで患者さんの想いや希望を汲み取ることが重要であると学びました。最初は口を動かしておられても何を伝えようとしているのか分かりませんでしたが、何度もコミュニケーションをとっていく内に、パソコンの位置の事を言っておられる事がわかるようになりました。患者さんにその事を伝えたと頷いておられ、希望を把握する事ができ嬉しく感じました。また、患者さんの口腔ケアを通じて多職種で情報共有し連携することが質の良い看護を提供するために必要である事を学びました。

まだ分からない事や不安も多いですが、周りの先輩を頼りにし今後も感じた事や学んだ事を次に活かし、勉強に励み、患者さんが安全安楽に過ごせるように努めていきたいと思っています。

地域医療連携室だより 第58号



松江医療センター地域医療連携室メンバー紹介

地域医療連携室長（副院長）	池田敏和
地域医療連携係長（看護師長）	平野和子
地域医療連携室副看護師長	狩野順子
地域医療連携室看護師	古畑雄子・田中祐佳
	菅 清美・田邊沙奈恵
医療社会事業専門員（MSW）	若槻 咲・松本昌広

電話 0852-21-6131（代表）または
0852-24-7671（地域医療連携室）



外 来 診 療 表

お気軽にご相談下さい

令和7年7月1日現在

診療科		曜日	月	火	水	木	金	専 門 領 域	
呼吸器内科			岩 本(初)	坪 内(初)	木 村(初)	門 脇(初)	池 田(初)	【呼吸器内科】 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 坪内 佑介	呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
			坪 内	小 林	岩 本		木 村		
				門 脇	池 田		小 林		
呼吸器外科			目 次		目 次		目 次		
脳神経内科 (予約優先)			中 島 (完全予約制)	古 和	深 田	足 立 中 野	(交替制)	【呼吸器外科】 目次 裕之	呼吸器外科・一般外科
			來 海	下 山		細 田			
循環器内科							生 馬		
消化器内科			法 正						
小児科	発 達 専門外来		久保田 (初診) (午後のみ) (予約制)	久保田 (午前のみ) (予約制)		久保田 (午前のみ) 前 垣 (第2木曜午前のみ) (予約制)		【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 下山 良二 深田 育代 細田 義人 來海 壮志 中野 俊也	【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制) 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科
	予防接種			(予約制)					
麻酔科	腰痛外来				西 村 (予約制)			【循環器内科】 生馬 勲	循環器一般
特 殊	睡眠時無 呼吸外来					呼吸器内科 担当医(予約制)		【小児科】 久保田智香 前垣 義弘	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	息切れ 外来			池 田 (予約制)					
	喘息 アレルギー外来						池 田 (予約制)	【麻酔科】 西村友紀子	麻酔科領域
外 来	咳嗽外来						池 田 (予約制)	【消化器内科】 法正 恵子	消化器内科領域
	禁煙外来					呼吸器内科 担当医(予約制)			
	アスベスト 外来			(予約制)	(予約制)	(予約制)			
来	もの忘れ外来				深 田 (予約制)				
	ボツリヌス 療法外来			(予約制)					
その他	セカンド オピニオン外来		(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)		

診療時間 8:30~17:15

受付時間 8:30~11:30

自動再来受付 8:00~11:30

独立行政法人
国立病院機構

松江医療センター
呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
電話 (0852) 21-6131(代)

地域医療連携室直通電話 (0852) 24-7671
地域医療連携室 F A X (0852) 24-7661

Matsue Medical Center

特 殊 外 来	睡眠時無呼吸外来	診 療 日：毎週木曜日 14：00～16：00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診 療 日：毎週火曜日 13：00～15：00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診 療 日：毎週木曜日 9：00～9：30 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診 療 日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	もの忘れ外来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	ボツリヌス療法外来	診 療 日：毎週月曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：痙攣(筋肉のつばり)に対して、筋肉の緊張をやわらげる薬剤(ボツリヌス毒素)を注射して痙攣を軽減させる治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診 療 日：毎週月曜日 13：00～15：00 (初診のみ)、毎週火・木曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	腰痛外来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
肺 がん 検 診	セカンド オピニオン外来	診 療 日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器内科・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。
	肺がん検診	診 療 日：毎週月～金曜日 11：00～11：30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円